

水道事業評価(令和3年度)

担当課

浄水課

1 事業情報

目指すべき方向性	安全	基本政策	1 安全・安心な水道水の確保	施策	1-1 水源の保全と確保	事業	1-1-1 県水受水の安定化
----------	----	------	----------------	----	--------------	----	----------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。							
事業目的	埼玉県から購入する原水(県水)の安定的な受水を図るため、埼玉県との連携を強化します。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	<ul style="list-style-type: none"> 安定した県水受水量を確保するため、過去の実績に基づき次年度の県水受水量を確保します。 事業1-1-2「自己水源の確保」と併せ、安定給水量を確保します。 埼玉県の年次点検による県水停止においても安定した給水ができるように、埼玉県との連携強化を図ります。 							
期間	令和3年4月		～		令和4年3月			
予算額 決算額	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	3,873,674	3,873,674	0	3,843,538	3,843,538	0	99%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	3,873,674	3,873,674		3,843,538	3,843,538		99%
人件費	4,503			4,503			100%	

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	1,936,837	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	50%		
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 給水人口と一人一日平均給水量の実績から令和4年度～令和6年度の県水受水量を予測し、その値を県へ報告しました。 天候の変化などによる日々の水需要の変化に対しては、自己水源を活用し、安定した給水量を確保しました。 埼玉県担当者との共有を図り、連絡体制を維持し安心安全な水道水の確保を継続している。 			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 安定した県水受水量を確保するため、過去の実績を基に必要量を予測し、次年度の県水受水量を確保しました。 天候の変化などによる日々の水需要の変化に対しては自己水源を活用し、安定した給水量を確保しました。 埼玉県の年次点検による県水停止においても埼玉県と連携を密にし、安定した給水ができました。 		
事業達成度	B 予定どおり成果を上げた		
事業達成度 C～Eの理由			

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	R4
指標名	【PI B115】給水制限日数	単位	日	目標値	0	0	0	
算出式・根拠	(年間給水制限日数)			実績値	0	0	0	
指標名	受水予測精度	単位	%	目標値	99.9	99.9	99.9	
算出式・根拠	(承認受水量に対する精度)			実績値	99.5	99.8	99.5	
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり成果を上げた	<ul style="list-style-type: none"> 水需要の動向に合わせて県水受水量の配分を決定し、効率的な水運用を行うよう努めます。 承認水量の範囲で自己水源を活用し、県水受水目標である99.9%運用になるよう努めます。 	現状維持で継続